様式１

予想される事故対策リスト【建築・設備工事】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 位  置  番  号 | 【事故の種別】  予想される事故 | 左記の安全対策 | 対策における留意点 | 確  認  日 |
|  | 【墜落・転落】 |  |  | ／ |
|  | 【挟まれ・巻き込まれ】 |  |  | ／ |
|  | 【地下埋設物等】 |  |  | ／ |
|  | 【架空線】 |  |  | ／ |
|  | 【第三者立入】 |  |  | ／ |
|  | 【交通事故】 |  |  | ／ |
|  | 【クレーン等の転倒】 |  |  | ／ |

　※対策の策定にあたっては、下記資料等を参考に、当該現場状況に応じた対策を記載すること。

【参考資料】

・安全サポートマニュアル（中部地方整備局 平成16年６月）

　http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/anzen\_support

・地下埋設物の事故防止マニュアル（中部地方整備局 平成20年６月）

　http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/pdf/080619\_manual.pdf

・地下埋設物・躯体埋込み配管等の事故防止マニュアル（営繕版）【①設計時・敷地調査時】

　地下埋設物・躯体埋込み配管等の事故防止マニュアル（営繕版）【②施工時（工事版）】

　（中部地方整備局営繕部 平成28年８月１日）

　http://www.cbr.mlit.go.jp/eizen/hinkaku/chika.htm

・架空線等上空施設の事故防止マニュアル（案）（中部地方整備局 平成21年12月）

　http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/pdf/091225\_kasen.pdf

様式１

予想される事故対策リスト【建築・設備工事】（作成例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 位  置  番  号 | 【事故の種別】  予想される事故 | 左記の安全対策 | 対策における留意点 | 確  認  日 |
| ① | 【墜落・転落】  足場組立作業中の転落事故 | ・先行手すりの設置  ・安全帯の固定 | ・作業がない時は、足場への入口を塞ぐ | ／ |
| ② | 【挟まれ・巻き込まれ】  移動中の機械との接触による身体の転倒や挟まれ事故 | ・移動させる機械の周囲への立入禁止措置  ・監視人の配置  ・機械移動範囲の地盤等安定保持 | ・機械と接触するときには、機械が作動しない状態であることの確認を徹底する | ／ |
| ③ | 【地下埋設物等】  バックホーやカッター等による埋設管（線）の破断事故 | ・管・線の管理者及び利用者に現地立会を求め、埋設位置を予め確認  ・確認が十分にできない場合には、監督員と協議の上、人力掘削による試掘を行う | ・個人所有の引込管等は存在が不明の場合もあることに留意する | ／ |
| ④ | 【架空線】  重機のブーム等による架空線の切断事故 | ・防護カバーの設置  ・高さ制限装置の設置  ・注意看板の設置  ・立入禁止区域の指定  ・選任監視人の配置 | ・施設管理者に施工方法等の確認、立会を求める  ・関係作業員への施設情報等の周知徹底 | ／ |
| ⑤ | 【第三者立入】  第三者の誤進入による接触、転倒事故 | ・進入防止柵等による立入禁止範囲と通行可能範囲の明示 | ・施工段階に応じて範囲の設定を変更し、隙間の発生を防ぐ | ／ |
| ⑥ | 【交通事故】  ダンプトラックと歩行者・自転車との接触事故 | ・交通事故のハザードマップを作成・配布し、運行時の危険箇所を周知 | ・運行経路、時間帯にも配慮する | ／ |
| ⑦ | 【クレーン等の転倒】  アウトリガー据付箇所の不同沈下等によるクレーン等の転倒事故 | ・軟弱地盤の把握  ・敷鉄板の設置  ・改良、入替等による支持力の確保 | ・荷重作用の直前、直後、中間時における敷鉄板の沈下等の確認を行う | ／ |